

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなえみ学舎本荘キャンパス		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 12日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 18日		～ 令和8年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性を十分に理解し、個別支援計画に基づいた専門性のある丁寧な支援を行っていること。	集団支援と個別支援を組み合わせ、発達段階に応じた支援を実施していること。	集団・個別支援の参観機会を設け、支援の見える化を進めること。
2	怪我やトラブル時の迅速な報告や行き渋り等への柔軟な対応など、保護者との信頼関係が築かれていること。	言語聴覚士との連携や運動プログラムの導入により、生活スキルや身体機能の向上を図っていること。	言語療法だけではなく、作業療法や運動プログラムの充実および内容の発信強化を図ること。
3	活動報告や日々の情報共有が具体的で分かりやすく、安心して通所できる環境が整っていること。	安全管理体制の整備や定期的な訓練の実施、保護者との丁寧な情報共有を行っていること。	保護者向け研修やペアレントトレーニングを企画し、家族支援の充実を図ること。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の様子や取組内容の「見える化」が十分とは言えない点。	日々の支援に注力する中で、保護者が直接支援を見る機会の設定ができていない。	参観日や活動報告の工夫により、支援内容の見える化を推進する。
2	家族支援（ペアレントトレーニングや保護者交流）の機会が十分に整っていない点	家族支援を計画的に実施するための時間確保や年間計画の整備が十分ではない。	テーマ別保護者会やペアレントトレーニングの定期開催など、家族支援を計画的に実施する。
3	研修・PDCA・インクルージョン理解など、職員の学びや参画体制をさらに強化する余地がある点。	業務改善や研修参加が個々の意欲に依存しやすく、組織的な仕組みとしての強化が必要である。	職員が主体的に参画できるPDCA体制の整備や、外部研修・非常時訓練の充実を図る。